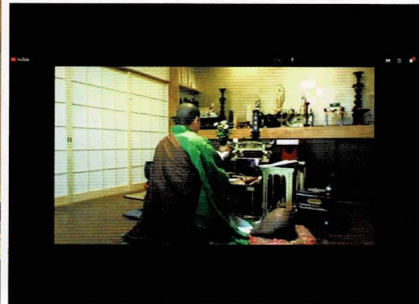


# 茨城県小美玉市 清浄院

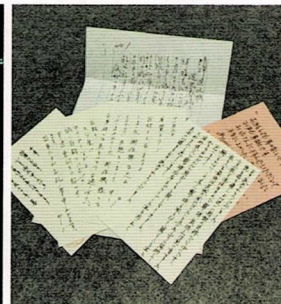
住職  
堤 忠春



少人数でのご法事



YouTubeでの配信



お礼の手紙

## ☑️ ☑️ ☑️ コロナ禍における現状

当寺にとってもコロナ禍の影響は言うまでもありません。気軽に立ち寄って頂ける礼拝所を目指してきましたが、その取り組みの多くはコロナによって遮られています。

月毎の行事には必ずお越しになられた方、月参りを希望されていた方も、今は大事をとってか足が遠のいてしまった方がほとんどです。

人に会えないという状況が続けば、寺院運営にも大きく影響します。当寺の対策としては、以前より続けているインターネットやSNS、手紙による伝道教化にさらに力を入れるという事でした。

法事や詠唱の普及にと違い、動画配信サイトに動画をUPしていることを信徒様方に伝えましたところ「海外にいるご兄弟に法事の様子を見せたい」という方も現れました。

信徒様が自ら法事の様子を撮影し、海外にいらっしゃるご兄弟にオンラインで映像を送るといった方式です。ご兄弟

の方からは、遠く離れていても同じ時間を共有できたこと喜びのお言葉を頂きました。

もちろん、そうした対応策は賛否あるようですが、個人的には、遠方の方々と繋がる事ができる良い方法だと思っておりますし、コロナ禍における繋がりツールだと考えております。

今後も含め広く受け入れられるには時間がかかると思いますが、何もせずにいるよりは、チャレンジするという精神が大事であり、準備をしておくことは無駄ではないかと思えます。

## ☑️ ☑️ ☑️ コロナ禍でも 相談者は訪れます

さほど多くはありませんが、今まで同様に相談等もあります。最近の子育てや働き方に悩む方が増えているようです。これもコロナの影響でしょうか？

当寺には長年幼児教育の現場で働いてきた専門家がございますので、子育ての相談に関しては

多くの時間を妻に協力して頂いております。

また、第一波が落ち着いた頃に、ご近所さんや友人等を集め、少人数でのCafe claud(お茶会)やオンラインお茶会、ストレッチクラブ等の対応をして頂きました。コロナ疲れで知らないうちに様々なストレスも抱えています。それらの解消を目的としました。

## ☑️ ☑️ ☑️ 当寺のスタンスは コロナ禍でも変わりません

今だからこそ繋がりをつくり、お会いできない方々との距離を少しでも近く保つことが大事なのではないかと考えています。今こそWebだと思えます。

第三波以降、各地で緊急事態宣言が発令されました。感染拡大の影響は計り知れない脅威です。

私共としては一日でも早いコロナ禍の終息を祈念するばかりです。

合掌  
南無阿弥陀仏